

AIRwayプロジェクト ～平成20年度の活動～

AIRwayプロジェクトの活動

1. 対応リンクリゾルバの拡充

ExLibris社SFXグローバルバージョンのソースターゲットに採用されました！

改めて世界進出！

2. 対応機関リポジトリの拡充

- ① IRDB (JAIRO対応全機関)をリンク解決対象に追加
- ② 国外15機関をリンク解決対象に追加

搭載レコード数約9万件 → 約27万件に大幅増加！

そこにはいろいろな苦勞と改めて課題が浮き彫りになりました・・・。

3. 初めてのAIRway利用状況調査

初めてやってみました！

AIRwayは電子ジャーナルへのアクセス権限のない潜在的読者を機関リポジトリに導くことにより、対応リンクリゾルバの導入機関に対する当該文献の可視性を7%向上させたという結果がでました！

JEEPwayの開発 (AIRway新版プロトタイプ)

リンクリゾルバによるオープンアクセス文献へのナビゲーションにおいては、より曖昧な情報から文献を特定しうるクエリー解決モジュールと、より広汎なウェブサービスへの適用を可能とする汎用性の確保が必要であるという観点から、新たなシステムの仕様要件策定およびプロトタイプ開発をおこないました。この新版プロトタイプをAIRwayとの区別のため、JEEPwayと称することとしました。

具体的には

OAIsterへのSRUを利用したリンク解決により、世界中のリポジトリ文献に対するナビゲートを可能にしました。

